

安全に・安心して過ごすために

情報モラル講座

7月に、4～6年生対象に、「情報モラル講座」が行われました。NHK for Schoolの教材を視聴して、インターネットは便利なものだけれど、ルールやマナーを守って使うことが大切であること、使い方を間違えると、時に危険なものでもあることなどを学びました。学校でタブレットを使う時にも意識していけるよう、見守っていきます。ご家庭でも、インターネット等メディアの使い方について話題にさせていただき、利用のルールを今一度確認して、引き続き子どもたちの様子を見守っていただければと思います。

子どもたちの振り返りから

トラブルをふせぐために、なんとなくでやらず、本当にやりたければ親に相談すること、万が一トラブルになったらすぐに大人に相談すること、自分でしっかりと考えたり相談したりすることが大事だなと思いました。

インターネット上では、言葉を受け取る側も「変だな」と思ったら、本人に直接聞くことが大事だと思いました。言葉を送る側の方は、送る前にその文章で大丈夫か確認することが必要だと思います。

学習して改めて、一度送った写真や情報を完全に削除することは難しいということを知り、恐ろしさを感じました。NHKのドラマを見て、本当にトラブルがあることを知り、気を付けてインターネットを使わなければならないと思いました。

児童支援専任より

第7波のコロナ感染拡大の中、スタートした夏休みでした。ご家庭でも感染予防を意識しながら過ごした夏だったことと思います。

一般的に夏休み明けは、生活リズムを整えるのに時間がかかることが多く、それに伴い、気持ちが不安定になることがあります。気持ちを整え、学校生活をより充実させていくためにも、いつもの生活リズムにもどるよう、早寝早起きなどご家庭でもお声かけください。

また、このような時期だからこそ、思いやりの心を持ち、相手の立場に立って行動することが大切だと思います。一人ひとりが自分にできることを考え、衛生面に気を付けたり、確かな情報を得たうえで行動したりすることも必要なことです。多くの人々の支え合いや助け合いによって日々の生活が成り立っていることに感謝しながら、子どもたちに声をかけていきたいと思っています。

お気付きのこと、ご心配なことがあれば、ご連絡ください。

